

Greeting

## ごあいさつ



取締役頭取 大城 勇夫

皆様には、日頃より琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

平成16年度中間期の決算状況は、中期経営計画「Quality2003」の経営目標である「安定した収益基盤の確立」の達成に向け、数々の営業施策を展開してきた結果、コア業務純益や中間純利益が過去最高を計上するなど収益力は着実に向上しています。

一方、最近の経済情勢は大企業の業績を中心に明るい兆しが見られますが、中小企業等が中心となる地域経済の回復ははまだ本格化していません。

こうした状況下、当行は中期経営計画の着実な実行に加え、昨年8月に策定した「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に基づき、中小企業に対する資金供給の円滑化や事業再生支援などに積極的に取り組むことが、地域経済の活性化、中小企業金融の再生、ひいては当行の収益性の向上と健全性の確保に繋がるものと考えています。

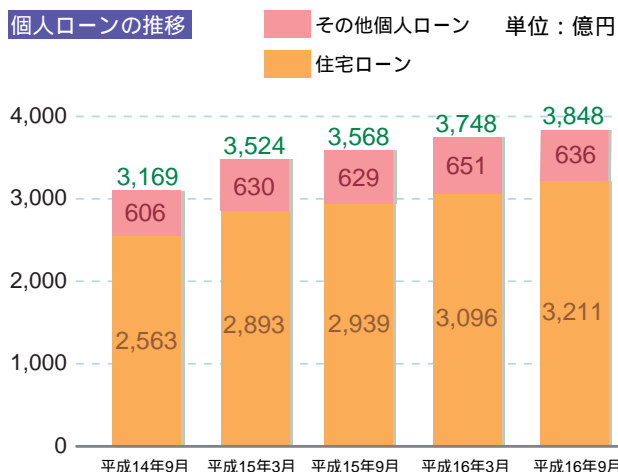
当行は、今後とも「安定した収益基盤の確立」とお客様の金融取引の全てを任せていただける「まかせてバンク」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

今後とも、なお一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 個人ローン

個人ローンは順調に増加

個人ローン残高は、県内唯一のガン保障特約付住宅ローンの販売が好調なことなどから、期中99億円増加の3,848億円となり、順調に増加しました。

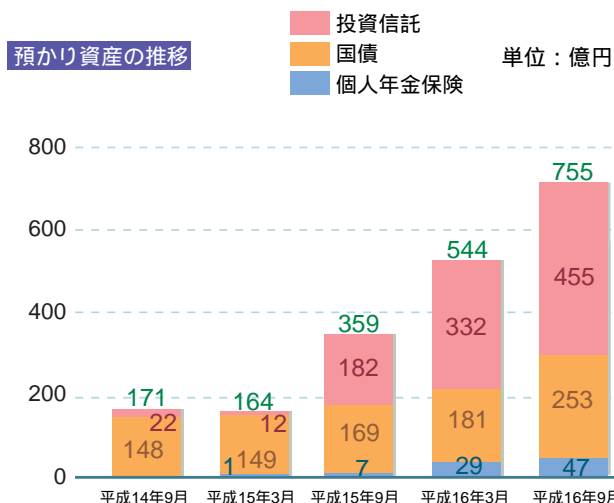


(注) グラフ上の値は各項目とも切り捨て表示です。

### 預かり資産

預かり資産は大幅に増加

預かり資産(投資信託、個人年金保険、国債)の期末残高は、お客様のニーズに合った資産運用提案に努めたことや個人向け国債の販売が順調であったことから、期中211億円増加し755億円となりました。



(注) グラフ上の値は各項目とも切り捨て表示です。